

人文科学総合 (Human Science)		4年・後期・2学修単位( )・必修 5学科共通・担当 木村倫幸・勢田勝郭
〔準学士課程(本科1 - 5年) 学習教育目標 (1)〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 A - 1 (70%), C - 1 (30%)	〔JABEE 基準〕 (a), (f)
〔講義の目的〕 (木村担当分) 現代社会を多面的に考察していく社会科学的な視点を養い、これを的確に表現・伝達できる論理的な能力を育成する。 (勢田担当分) 日本神話・古代史の資料として『古事記』の説話を講読することを通して、日本の風土・文化・社会・国家について理解を深める。		
〔講義の概要〕 (木村担当分) 人間存在の捉え方を中心に、思想とは何かを歴史的な視点から考察する。 (勢田担当分) 毎週一つ、『古事記』に載せられた「説話」を「原文書き下し」で講読し、その内容について考察する。		
〔履修上の留意点〕 対象となる問題が多いので、適宜レポート、キーワード等を課す。また、木村担当分は、問題が現代性を持っているので、新聞等のメディアにも注意を払うこと。なおクラスによって講義の前半と後半の順序が入れ替わるので注意すること。		
〔到達目標〕 (木村担当分) 人間存在を理解する基本的視点の歴史的発展を確認する。 世界と人間との関係の認識について理解を深める。 (勢田担当分) 記紀神話の概略を知り、それが史実ではなく、古代日本人の世界観の反映であることを知る。 教材とされた『古事記』説話を、毎週課せられる課題を仕上げることを通して、読解できるようになる。		
〔評価方法〕 担当者2名の平均で学年成績とする。 (木村) 確認テスト(50%)、レポート・課題(50%)。 (勢田) 定期試験の得点(60%)、レポート・課題(40%)。		
〔教材・参考書〕 プリント教材多数。参考図書については、講義の中で随時紹介する。 なお、勢田担当分については、日本古典文学全集『古事記』(小学館)が、参考書として非常に有用であろう。図書館にあるので、更に知識を深めたい諸君には、一読を勧める。		
〔関連科目〕 3年生までの国語、歴史、政治経済等の知識と関連づけて進めていきたい。		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	人間とは、世界とは	人間についての理解を始める視点を概説する。	
第2週	古代ギリシャの人間観 ( )	古代ギリシャ哲学の発生(神話から哲学へ)を理解する。	
第3週	同上( )	ソフィスト、ソクラテス、プラトンの思想を理解する。	
第4週	同上( )	アリストテレス、ヘレニズム時代の思想を理解する。	
第5週	キリスト教の思想	キリスト教思想の特徴と中世神学の発展を理解する。	
第6週	近代世界と人間観( )	ルネサンスと宗教改革時代の思想を考察する。	
第7週	同上( )	近代科学革命時代の思想を考察する。	
		(↑木村担当分・↓勢田担当分で前後入れ替え)	
第8週	『古事記』概説	『古事記』を読み解くにあたって必要とされる、基本的事項を知る。	
第9週	国産み	イザナギ・イザナミ二神の「みとのまぐはひ」説話を講読し、その内容を考察する。	
第10週	天の岩屋戸	太陽神・アマテラスの「岩戸隠れ」説話を講読し、その内容を考察する。	
第11週	スサノオの大蛇退治	高天原を追放になったスサノオの、ヤマタノオロチ退治説話を講読し、その内容を考察する。	
第12週	神武東征	カムヤマトイハレヒコが日向国を出発し、大和の畝傍山麓で即位するまでを講読し、その内容を考察する。	
第13週	倭建命( )	記紀神話における最高の英雄・ヤマトタケルの西征、東征から死に至るまでを講読し、その内容を考察する。	
第14週	倭建命( )	同上	
第15週	特別講義	内容未定	
試験			

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)